

令和3年度 公社等経営評価シート  
(対象期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日)

概要	名称	公益財団法人宮崎県機械技術振興協会		所在地	延岡市大武町39番地82		
	電話番号	0982-23-1100		ホームページ	<a href="https://www.mmtc.or.jp/">https://www.mmtc.or.jp/</a>		
	設立年月日	昭和54年2月17日	代表者	理事長 読谷山 洋司	県所管部・課	商工観光労働部 企業振興課	
	総出資額	3,000千円		県出資額	1,500千円	県出資比率	50.0%
	設立目的	機械金属工業の技術指導、調査研究等を行うことにより、本県機械金属工業の振興に寄与することを目的とする。					
	特記事項	宮崎県機械技術センター指定管理者の指定を受けている。 (指定期間：平成18～20年度、21～25年度、26～30年度、令和元～5年度)					

内容		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
改革工程	①公社等のあり方見直し	機械技術センターの適切な運営を図るための協会運営効率化等の検討	企業等を訪問し、センターの管理運営に関する要望等の聴取を行った結果に基づき、運営方針を検討した。	企業等を訪問し、センターの管理運営に関する要望等の聴取を行った結果に基づき、運営方針を検討した。	機械技術センターの適切な運営を図るための協会運営効率化等の検討	
	②公社等の経営見直し	経営・事業運営改善	事業者の点検・見直し	利用者満足度調査のほか、技術講習会・セミナー開催時にアンケート調査を行い、ニーズの把握と改善の方策を検討した。	事業者の点検・見直し	
		財務改善	事業経費の適正な執行	協会財務規程に基づき、適正な執行を行った。	協会財務規程に基づき、適正な執行を行った。	事業経費の適正な執行
		組織等適正化				
	③県と公社等の関係見直し	人的支援見直し	県職員派遣の可否検討	業務状況及び技術系職員の採用により、県職員の派遣は不要と判断した。		
財政支出見直し		委託事業等の見直し	委託事業の業務内容を機械技術センター管理運営事業の業務として整理した。			
④情報公開推進	ホームページでの情報公開の充実	セミナー開催案内、新規導入設備機器、財務状況等の内容をホームページで公開したほか、メルマガや情報誌を利用した情報発信を行った。	セミナー開催案内、新規導入設備機器、財務状況等の内容をホームページで公開したほか、メルマガや情報誌を利用した情報発信を行った。	ホームページでの情報公開の充実		

	(人)	令和2年度				令和3年度			
		合計	県職員	県退職者	左記以外の者	合計	県職員	県退職者	左記以外の者
人的支援	役員数	14	0	1	13	15	0	1	14
	常勤	1	0	1	0	1	0	1	0
	非常勤	13	0	0	13	14	0	0	14
	職員数	3	0	1	2	3	0	1	2
財政支出等	(千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	(千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	県委託料	53,825	58,818	59,417	県借入金残高	0	0	0	
	県補助金	0	0	0	県の損失補償契約等に基づく債務残高	0	0	0	
	県交付金・負担金・出資金	0	0	0	県職員人件費(県支給分)	4,445	0	0	
その他の県からの支援等									

主な県財政支出の内容	事業名	事業内容	令和2年度	令和3年度	種別
			決算額(千円)	予算額(千円)	
①	機械技術センター管理運営事業	公の施設である宮崎県機械技術センターの管理運営及び使用料・手数料の徴収事務	59,417	58,545	指定管理料
②					
③					
④					
⑤					

実施事業	宮崎県機械技術センターの管理運営業務（指定管理者）						
	指標名	算式（単位）	令和2年度			令和3年度	令和4年度
活動指標	① 技術相談件数	(件)	目標値	実績値	達成度(%)	目標値	目標値
	② 設備利用件数	(件)	340	352	103.5%	340	340
	③ 企業巡回訪問件数	(社)	370	352	95.1%	370	370
			70	73	104.3%	70	70
指標の設定に関する留意事項							

財務状況	正味財産増減計算書 (千円)			貸借対照表 (千円)				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	経常収益	55,213	60,132	60,704	資産	22,530	23,205	18,006
	経常費用	55,093	64,544	60,745	流動資産	9,820	11,371	11,368
	当期経常増減額	120	-4,411	-42	固定資産	12,710	11,834	6,638
	経常外収益	0	0	1,520	負債	3,240	8,327	3,169
	経常外費用	0	0	0	流動負債	3,240	8,327	3,169
	当期経常外増減額	0	0	1,520	固定負債	0	0	0
	当期一般正味財産増減額	120	-4,411	1,478	正味財産	19,290	14,878	14,836
	一般正味財産期首残高	14,650	14,770	10,358	指定正味財産	4,520	4,520	3,000
	一般正味財産期末残高	14,770	10,358	11,836	(うち基本財産への充当額)	3,000	3,000	3,000
	当期指定正味財産増減額	0	0	-1,520	(うち特定資産への充当額)	1,520	1,520	0
	指定正味財産期首残高	4,520	4,520	4,520	一般正味財産	14,770	10,358	11,836
	指定正味財産期末残高	4,520	4,520	3,000	(うち基本財産への充当額)	0	0	0
	正味財産期末残高	19,290	14,878	14,836	(うち特定資産への充当額)	1,815	2,480	0

※千円未満を四捨五入して表示しているため、合計の金額と一致しない場合があります。

財務指標	指標名	算式（単位）	令和2年度			令和3年度	令和4年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	目標値
①	県補助金等比率	(県委託料+県補助金+県交付金・負担金等+県借入金) / 経常収益 × 100 (%)	93.0	97.9	94.7%	93.0	93.0
	※ 令和2年度 実績値の算式	(59,417千円+0+0+0) / 60,703千円 × 100 (%)					
	② 人件費比率	(人件費 / 経常費用) × 100 (%)	60.0	56.3	106.2%	60.0	60.0
	※ 令和2年度 実績値の算式	34,217千円 / 60,745千円 × 100 (%)					
③							
指標の設定に関する留意事項							

直近の県監査の状況	
-----------	--

総合評価	公社等自己評価	設備利用支援のため、高度分析機器や精密測定機器の修繕、校正を行うとともに、材料分析機器の充実を図った。 今後も企業巡回訪問や利用者満足度調査等を通じて企業ニーズを取り入れながら業務改善に取り組み、質の高いサービスの提供を図る。				県所管部課二次評価	地域企業を取り巻く状況により施設の利用実績に増減があるが、令和2年度はコロナ禍による影響がある中、オンラインでの技術セミナーを開催するなど柔軟に対応している。 今後もポストコロナを見据えた企業ニーズの変化に応じて、取組の充実・強化が求められる。			
	評価 (A.良好、B.ほぼ良好、C.やや課題あり、D.課題多い)	改革工程	活動内容	財務内容	組織運営	評価 (A.良好、B.ほぼ良好、C.やや課題あり、D.課題多い)	改革工程	活動内容	財務内容	組織運営
		A	A	B	B		A	A	B	B
	目標達成度					公社等改革推進委員会三次評価	活動内容については、設備利用件数で目標値を下回っているものの、前年度より大きく増加し、おおむね達成している。企業への技術相談や巡回訪問に積極的に取り組んでおり、評価できる。 財務内容については、県からの財政支出が収入の大きな割合を占めていることから、自己収入の確保に努める必要がある。 県機械技術センターの指定管理者として引き続き適正な管理運営に努めるとともに、企業のニーズに的確に対応した活動の充実が求められる。			